

全児童・生徒用の学習者用タブレット端末の配備と学校の通信ネットワークの整備が令和2年度中に完了。今年度は、各学校での活用開始。

1. タブレット端末の利活用について

小中学校全校でタブレット端末等の利活用が開始。

【利活用頻度について】

- ・小学校6年生については、約68.9%の小学校が「毎日活用している」と回答。
約27.5%の小学校が「週に数回活用している」と回答。
- ・中学校3年生については、約43.7%の中学校在「毎日活用している」と回答。
50.0%の中学校在「週に数回活用している」と回答。

【学校内での活用例について】

大型モニタについて、98%の学校が「活用している」と回答。
カメラ機能やオンラインビデオ会議システムの活用する学校が多い。

2. 教員研修の実施について

昨年度、タブレット端末の操作方法や授業支援ソフトの活用方法についての研修を全小中学校で実施。今年度は、教育研究所主催のワンポイント研修会やICT活用研修会を実施。

3. 保護者への周知について

昨年度末に、市のホームページにて「平塚市G I G Aスクール構想」を公開。
今年度は活用に当たってのルール等を明記した保護者向け文書「ICT活用教育の基本ルール」を各学校が作成し、配布。

4. 臨時休業等非常時の対応について

9月にタブレット端末を持ち帰っての家庭のWi-Fi環境への接続テストを実施済。
併せて、ビデオ会議システムやオンライン学習ドリルなどの操作方法を、教員や児童生徒に慣れるよう各学校へ指示。

5. 運用開始から見えてきた課題と対応について

【課題】・ICTスキルの向上等、教員への支援体制の構築と充実

【対応】・教員のICT研修のより一層の充実

- ・効果的な活用事例や指導事例の紹介
- ・発達段階に応じた育成すべき資質能力や指導事項等の提示
- ・オンラインを活用した学習のモデル例の紹介や実施マニュアルの作成
- ・Wi-Fi環境が無い家庭へのモバイルルーターの貸与
- ・関係各課や学校と連携と一人ひとりの教育的ニーズに応じた学習支援
- ・情報モラル教育の充実
- ・学校連絡・情報共有サービスを全校に順次導入予定。